



NPOインターンシップ  
ツナがるカンケイ

2020

# ツナがるカンケイ



 P1-2 プログラム内容

 P3-4 受け入れ団体一覧

 P5-6 インターン生の活動風景

 P7-8 インターン生座談会

 P9 受け入れNPO・大学からの声

 P10 インターン生のアンケートより



# プログラム内容

横浜市を中心としたNPOの活動を体験出来るインターンシッププログラムです。活動先は「福祉」「国際協力」など、多様なNPOから選ぶことができます。NPOの想いと本気で向き合うインターンシップです。



実際に活動するにあたって、インターンシップに必要な基礎知識を学ぶ研修会を実施。参加学生同士の交流も深まります。



## Step 2 事前研修会

### Step 1

## NPOと学生のお見合い会 @オンライン

参加学生と受け入れ団体が直接話すことができる機会です。様々な団体を見て、活動したい団体を選びます。



### Step 3

## 志望先の調整&面接

志望団体が決まったら面接にてマッチング！活動期間や内容について具体的に打ち合わせます。



# Q&A

**Q, アルバイトなどで活動に行けない日があります。**

**A,** 活動内容・活動日は受け入れ団体と相談して決めてもらっています。「連続で活動しなければならない」「1日6時間活動しなければならない」などのルールは定めていないので、いつ活動に参加するのか、受け入れ団体と一緒に決めてください！

**Q, 困ったことがあればどうすればいいですか？**

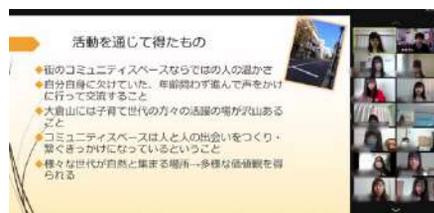
**A,** 一人で抱え込まず、周りの人に相談してみましょう！活動をする上での相談なら自身の受け入れ団体や他のインターン生、プログラム自体に関する相談なら事務局や大学など、相談内容によってどこに相談するのが一番か判断して、声をかけてください。解決できるようサポートします！

**Q, このインターンシップで何が得られますか？**

**A,** 一律に「この能力が身に付きます」というようなプログラムではありませんが、このインターンシップでは、事前の研修会で、自分自身の目的・目標を定めてから活動を行います。活動の途中で改めて目的・目標を確認する機会、成果報告会で最終的な自分の成長を発信する機会もあるので、自分で自分を高めていくことができるようなプログラム内容になっています！

\* 2020年度は新型コロナウイルスの影響により一部オンラインでの開催となりましたが、皆様のご協力により無事に開催することが出来ました！

各団体に分かれ、活動を始めます。活動中には、他の団体へ行った学生同士の交流も開催。



#### Step 4 活動体験



#### Step 5

#### 修了式・成果報告会

活動してきた事を振り返り、活動内容を共有します。最後に修了書を受け取り、プログラムは終了です。

### 2020年度の活動

#### 長期実践型

期間：週1~2回(200~400時間)  
時期：8-2月

#### 短期体験型

期間：10日前後(80時間)  
時期：8-9月

**参加者数 計46名**  
**(うち長期12名)**

## NPOインターンシップ寄付・協賛のご報告

このNPOインターンシッププログラムは皆様のご協力・ご支援により成り立っています。皆様、誠にありがとうございました。

2020年度 寄付総額：**¥247,500**

ご支援いただいた皆様：

- ・NPO法人アークシップ様
- ・横浜中華街パーキング協同組合様
- ・K2インターナショナルグループ様
- ・NPO法人ピッピ・親子サポートネット様
- 他個人 25名様

※こちらは2020年度の運営に活用させていただきました。誠にありがとうございました！

2021年度 寄付総額：**¥243,000**

ご支援いただいた皆様：

- ・NPO法人アークシップ様
- 他個人 18名様

※こちらは2021年度の運営に活用させていただきます。誠にありがとうございます！



# 受け入れ団体一覧



片倉うさぎ山公園  
遊び場管理運営委員会  
プレイパーク  
(屋外の子どもの遊び場作り)



NPO法人教育支援協会南関東  
子どもの体験学習支援



K2インターナショナル  
グループ  
まちづくり、若者支援



障害者自立生活センター  
IL・NEXT  
障害者自立支援



NPO法人みどり福祉ホーム  
障害福祉、子ども支援



NPO法人地域生活センター  
障害者福祉



NPO法人  
ピッピ・親子サポートネット  
学齢期児童の居場所



公益財団法人日本野鳥の会  
「横浜自然観察の森」  
環境保全(教育・調査・管理)



NPO法人アクト川崎  
環境学習、地球温暖化防止、  
市民活動支援



認定特定非営利活動法人  
スマイルオブキッズ  
難病や障害のある子どもたちの支援



NPO法人ぐらす・かわさき  
地域活動支援センター  
「メサ・グランデ」  
コミュニティカフェ、市民活動支援



コトラボ合同会社  
「ヨコハマホステルヴィレッジ」  
コミュニティ再生、起業



**大倉山おへそ**  
まちづくり・コミュニティスペース



**認定NPO法人  
びーのびーの**  
子育て支援



**NPO法人さくらザウルス**  
子育て支援



**NPO法人グリーンママ**  
子育て支援



**NPO法人かながわ外国人  
すまいサポートセンター**  
外国人支援(すまい探し・生活相談など)



**NPO法人WE21ジャパン**  
リサイクル、国際協力



**NPO法人  
地球市民ACTかながわ**  
国際協力



**NPO法人  
横浜NGOネットワーク**  
国際協力



**NPO法人STスポット横浜**  
芸術文化



**NPO法人横浜市民アクト  
(ほどがや市民活動センター  
アワーズ)**  
市民活動支援、まちづくり



**NPO法人  
横濱ジェントルタウン倶楽部**  
まちづくり、障害者福祉



**NPO法人アークシップ**  
まちづくり、アート



# インターン生の活動風景

## 長期インターン生の活動



8月から週に1回事務所に来てイベントのための打ち合わせ準備や企業の方と連絡を取ったりしていました。ビジネスマナーを身につけることが出来ました。

企業や団体の方を交えたサンタプロジェクトのオンライン会議。とても緊張しましたが学びの多い時間でした。



2/24にオンライン上でこれまでのインターンの活動報告を行いました。多くの関係者の方に自分の成長した点を発表し、自信をつけることが出来ました。



8月

10月

11月

12月

2月



認定NPO法人スマイルオブキッズ「リラのいえ」と共に福祉をテーマにしたオンラインイベントを実施。現地の生の声を学生に届けることが出来ました。



サンタプロジェクト@東戸塚児童学童の子どもたちと清掃活動を行った後、子どもたちと折り紙をしたりプレゼントを渡しました。たくさんの笑顔を見ることが出来とても嬉しかったです。

## 短期インターン生の活動



横浜自然観察の森では、子どもたちに楽しく分かりやすく生きもののことを知ってもらうために紙芝居を使ってお話します。これは、「セミの一生」の物語を色塗りしているところです！



見てください！この美しい自然を！天気が良くて空も草木も空気もすべてが最高に気持ちよくて、外での森の管理作業（外来種の草の除去や畑の手入れ）も楽しかったです！

1日目

2日目

3日目



この森で見られる野鳥の展示スペースのお掃除をしています！また、野鳥の名前のプレートに外国人の方でも分かるように英語での名前も加えています。

## 1日の流れ

- 8:50 横浜自然観察の森センターのお掃除
- 9:10 環境管理・環境教育・環境調査のお仕事 ex) ・パネルを作って展示
  - ・外国人向けの英語表記の野鳥の名前のプレート作成
  - ・外で畑の手入れや外来種の駆除
  - ・昆虫の調査
  - ・子ども向けに紙芝居作成
- 12:00 お昼休憩：職員の方と色々なお話ができて楽しかったです！
- 13:00 データの管理や観光客の接待
- 16:45 ミーティング：その日のまとめや共有

NPO法人アクションポート横浜  
長期インターン生



明治学院大学  
2年  
根本美玖さん

### Q1. NPOインターンシップ参加理由

自分の将来についてなかなか見えていなかったの、幅広い世代や分野の人と関わることによって、視野を広げられたから。長期の方が、より多くの人と関わる機会があると思ったので参加した。

### Q2. やりがいのあった活動は？

11月に行ったサンタプロジェクトのオンライン会議。オンライン上で話し合いの準備にはかなり時間が必要であることが分かった。実施後は自分に足りなかった部分を実感することが出来たり、会議の中では臨機応変に対応できたという自信を持てたりと、準備から当日までとても良い経験になった。

### Q3. 自分がインターンを経験して、変化したことは？

自分は今まで、どうせ無理そう、やりたいけど諦めるということが多かった。しかし何でもやりたいことを具体化してみる面白さを知り、これからは新しいことに挑戦してみようという気持ちを持てた。

### Q4. インターンの魅力とは？

私のようにあまり目標がはっきりしていない人でも、活動の中で多世代の色々な考えを持つ人に出会い、話を聞き、視野を広げることができたので、ひとりひとりどんな目的を持っていたとしても様々な活動の中で得られるものが必ずあるという点。

### Q5. 団体の方へメッセージ

半年間アクションポートでインターンをして、「多くの人と関わりたい」という当初の目標を達成でき、今後さらに色々なことに積極的に挑戦してみたいという気持ちになりました。

### Q6. これからインターンを始める方へのメッセージ

NPOでのインターンは自分が興味のあることを深めることも、知らないことを新しく知ることでもできるとも貴重な体験になります。企業インターンは就活に向けてほとんどの人が参加するものであると思うけれど、視野を広げるという点でこのNPOインターンへの参加も、とても意味のあるものになると思います。

公益財団法人日本野鳥の会「横浜自然観察の森」  
短期インターン生



神奈川大学  
2年  
松本ひかりさん

### Q1. NPOインターンシップ参加理由

体験学習に興味があったから。夏休みの時間を有効に活用したかったから。

### Q2. この団体を選んだ理由は？

「鳥が好きだから」それだけ(笑)日本野鳥の会というのがあるのも知らず、おもしろそう！という感情のままに行動して、気づいたらこの団体でインターンをさせてもらっていた(笑)でも結果的にすごく価値のある体験ができたと感じ満足しているし、今後に生かしたいと思う。

### Q3. インターンを通じて得たことは？

自然の壮大さ、美しさ、子どもころの感覚を思い出した。この貴重な自然を大事に管理して下さっている方々への感謝と、これからはたくさんの人にこの美しさに触れてほしい、将来世代にも残さなければならぬと強く思いました。

### Q4. インターンの魅力とは？

実際にお仕事を体験できること。ボランティアやアルバイトとは違って、実際にそこで働いている人たちと一緒に働かせてもらう。その雰囲気を感じることによって、学べるものはとても大きいと思う。

### Q5. 団体の方へメッセージ

本当にお世話になりました。皆様のおかげでとても充実したインターンになりました。これからもご活躍を期待しています。

### Q6. これからインターンを始める方へのメッセージ

どこのインターン先でも何か学びがあると思います！自分のやりたいことやおもしろそうと思ったところへ飛び込んでみてください！！



# インターン生座談会

## ◎学生座談会

2021年3月、NPOインターンシッププログラムに参加した学生を交え、座談会をオンラインにて行いました。今回は、コトラボ合同会社「ヨコハマホステルヴィレッジ」で短期インターンをした河森さん（明治学院大学3年）と、アーキシップで長期インターンをした板松さん（神奈川大学3年）に参加していただきました。（インタビュー：学生スタッフ 細野）



**細野**：本日はありがとうございます！早速ですが、NPOインターンシップに参加したきっかけを教えてください。

**河森**：大学の授業の一環として参加しました。「コトラボ」を選んだ理由としてはホステルを通して外国人や地域の人々との交流の場を作り上げていくという新しいまちづくりの形が面白いと思ったから。この活動はアルバイトなどではできない経験なので、インターンならではのいいところだなと感じ参加しました。

**板松**：コロナの影響でフィールドワークの授業を行うことが出来ず、楽しみながら学ぶ機会を失ったなと思っている時にゼミの先生からNPOインターンの紹介を受け、参加を決めました。アーキシップを選んだのは、ずっと音楽に関わるイベントに参加できたらいいなと思っていてノウハウを知りたいなと思い、音楽と地域をつなげるアーキシップを選ばせてもらいました。

**細野**：ありがとうございます。参加の方法は違うけど、きっかけはお二人とも大学の授業だったんですね！それでは続いて、NPOインターンシップで印象に残っていることを教えてください。

**河森**：私が一番印象に残っていることは、寿町の町の雰囲気。歴史的に日雇い労働者が多い町と言われていて、今も生活保護を受けているお年寄りの方が生活している街もあるので、労働の街から福祉の街に変わってきていることを感じられました。反面、街を歩いていると行政が建てた就労センターとか保健所等があるのですが、それが形だけというか箱だけが置いてあるという風感じました。私は貧富の差を普段の生活から感じる事がなかったが、少し県を跨ぐと、自分には想像もできないような生活をされている方がいることを知り、自分の不甲斐なさも感じ、それを変えていきたいという風にも思いました。実際に街に

行き、どんな人が街に住んでいてどのようなことに困っているのかを自分の目や肌で感じる事ができたと思います。

**板松**：私はアーキシップの「ホッチポッチ」というイベントの終了後。終わった瞬間に他のインターン生6人全員で泣いたんですよ（笑）打ち上げの時一人ずつコメントを言っていくのですが、その時にもぼろぼろ泣いて、それだけ泣けるほど時間を費やせたことが良い経験だったなと思った。また、平日別の場所で働いている方々が休日に集まってイベントの準備をしたりしている。お金も発生しないことなのに、こんなことをやっている大人がいるのだという事に衝撃でした。

**細野**：お二人とも心に残る経験が出来たようで良かったです！それでは続いて、インターンを通じて得たものを教えてください。

**河森**：1つ目は街に実際に行くことがまちづくりには欠かせないということを実感しました。どんな歴史があるのか、どんな人が暮らしているのか、人々が何を求めているのかということはその街を実際に歩き、生活をしている人と挨拶を交わしていく中で気づいていくものだと感じました。2つ目は新規事業の企画立案の際、企業側の視点、クライアント側の視点それぞれの立場に立ってどちらにどのくらい利益を出すかといった関係性を考えたことにより色々な立場に立って物事を捉えることができるようになりました。3つ目は自分の普段あまり活用しないSNSが国や対象の相手、外国人、年齢層や人によって重要なツールになるということ。自分自身はInstagramをよく使うが、FacebookやTwitterも重要な発信源になると気づき、自分にとっての新たな集客戦術を習得することができたと思います！

**細野**：10日間という期間も短かったと思うのですが充実した、学びの多いインターンになったということがすごく伝わってきました。

**板松**：沢山の面白い大人と出会ったこと。事務局で一緒に作業している方が両親と年代が同じくらいで、あまり身近で仕事を楽しんでいる大人の会話を聞く機会がなかったけれどアーキシップでイベント運営の後に色々な話をしたのが楽しかった。普段のお仕事もしつつ、ほぼ趣味みたいな形で週末にイベントを運営しているという(笑) 世の中には面白い大人がいるなと思いました。

**細野**：最後に、これからインターンをする後輩に向けてインターンの魅力や伝えたいことを教えてください。

**河森**：私が思うインターンの魅力は**自分の視野が広がる**ことの一択。私、実は今「コトラボ」のホステルに住み込み、夜間スタッフのバイトを行っています。インターンをする前の自分じゃ親元離れて一人暮らしする生活は考えられないことでしたが、インターンにて街の良さを知り、もっとこの仕事に携わってみたいという興味やワクワクが増えたから。それがやはりインターンの最大の魅力だと思う。**自分の視野や可能性は実際にインターンをやってみないと始まらない**ことなので、それはとても素敵なことなのではないかなと思います。また、社会の仕組みを理解し、実感できるなと思います。高校や大学の勉強は座学だけど実際に社会がどのように動いているのかということはインターンやそのような団体や企業に入ってみないと見えないことがたくさん出てくるので、そこもインターンの魅力だなと感じました。

最後に後輩に伝えたいことは、**「自分が気になったことだったり、少しでも興味のあること、逆に興味のないことでもいいから、何か挑戦だったりやってみることが大事」**ということ。インターンだけに限らずアルバイトや勉強もそうですが、自分がやりたいと感じたことは今しかないと思ってやるべきだと思います。

コロナだからとかいくらでも理由は付けられるけれど、実際に行動するのは自分だから、面倒くさいという理由や外に見えているものだけで判断するのではなく、自分で実際にやって体感して自分の肌で感じてほしいなと思います。

**細野**：実際にインターンに参加し、様々な魅力を実感したことが今の活動に繋がっているということですね。

**板松**：私は、**色々な方と近い距離で濃密な時間が過ごせる**という点がNPOインターンシップの魅力だと思います。アーキシップのイベント「ホッチポッチ」では国籍、性別、世代など関わらず、誰でも楽しめる音楽祭イベントをつくる。そのためには障がい者の方のためのバリアフリーの会場設計をすることが大切です。今までそのようなアイデアなかったなど。普段別々な場所で働いている大人との会議では色々な意見が出ていて刺激になることが多かったです。後輩に伝えたいことは、(これはアーキシップ限定になってしまうが)インターン期間はめっちゃくちゃハードということ(笑) どんどんバイトの時間が減っていく。私は2か月ぐらいバイト休んでいました(笑) だけれど、**バイトなんていつでもできるがインターンは今しかできない**。私は今しかできないと思ってバイトを休み、全力で打ち込んだので本当にハードだったけれどアーキシップで経験したことは何にも代えられないなと感じており、私も、インターンを終えてからアーキシップの事務局学生スタッフとして活動しています！

**細野**：お二人とも最初は大学の授業やゼミがきっかけではありましたが、続けていくうちにたくさんの学びや感動を得て、河森さんは今「コトラボ」に住み込んでいたり、板松さんはアーキシップ事務局の学生スタッフになったり、インターンが今の活動に結び付いている...素敵です!! お二人ともお話聞かせてくださりありがとうございました!

## あなたにとって、NPOインターンシップとは？



「社会貢献の第一歩」

コトラボ合同会社では、「まちづくり」を通してそのまま暮らし人々の人生を想像しながら活動することができました。自分のことだけでなく、他者の幸せに想いをめぐらせながら活動する中で、社会貢献の本質とは何かを学ぶことができました。そして、自分の将来についても深く考えるきっかけになりました。

コトラボ合同会社 短期インターン生  
明治学院大学3年 河森明依さん



「大人っておもしろい!」

このインターンシップに参加するまでこんなにたくさんのいろんな仕事をしている大人に出会う機会はありませんでした。NPOではたくさんのおもしろい大人との出会いがあります。それはきっとNPOインターンシップならではの魅力だと思います◎

アーキシップ 長期インターン生  
神奈川大学3年 板松汐音さん



# 受け入れNPO・大学からの声



**大倉山おへそ  
小松 由希子 氏**

当団体は大倉山エルム通り商店会と協働で、商店街と地域の活性化を目的としております。あえて“地域”にこだわった活動を主としているため、大きなプロジェクトこそありませんが、おへそに携わってくださっている地域ボランティアスタッフや、ふらりと来館される地域の方々との関わりの中で、家庭や学校、友達とも違う“ななめの関係”に触れる機会がたくさんあります。過去に「大倉山おへその活動を通して、ゼミのメンバーにも声を掛けられるようになった」という学生もいました。もしかしたらその場限りかもしれない何気ない会話から得られるものにアンテナを張って、新しい自分を見つけてもらえたらこんな嬉しいことはありません。

NPOインターシップの取り組みは、学生一人ひとりの成長や可能性を高められる良き体験になるのではないのでしょうか。社会の現状を知り、支援現場での体験も重ねることで、ミクロ的・マクロ的な見方ができるようになるかもしれません。現場の活動では、言葉や考えの深みをつけることができると思います。今回はオンラインを活用し本団体の取り組みと本施設の紹介もしていただきました。担当された学生、参加学生、団体のスタッフやボランティアと話をすることで、お互いを理解する機会となりました。今回の実践が今後互いにウィンウィンの関係が繋がることを望みます。

**認定NPO法人  
スマイルオブキッズ**

**宇田 永治 氏**



**桜美林大学  
奥田 裕之 氏**

2020年は、コロナ禍で大学の在り方も大きく変わりました。リアルな場で実際に会って学び、体験することが減少したことは残念でした。NPOインターンシップ・プログラムは、在学している大学の中に留まらず、似た関心を持った他大学の学生と知りあい、NPOで活動している様々な社会人や地域社会の方々との協働する場です。社会的に大変な状況だからこそ、公益的な活動をするNPOの価値も高まっています。「事業をともに行うメンバー」としてNPOの活動へ参加することは、まだ会ったことのない人たちとの出会いや新しい体験につながり、広い視野を持って自分自身を考える良い機会になります。たくさんの学生がそのような体験をすることを願っています。

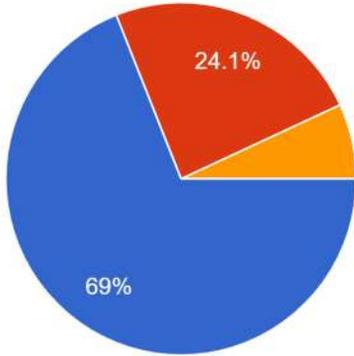
2018年度よりこれまでに4名の学生を受け入れていただきました。本学は美術大学の為、インターンシップ先も限られていると学生も社会も考えがちです。しかし、アクションポート横浜の取り組みを知り、美術・デザインを学ぶ学生はNPO団体様でお役に立てることがあるのではないかと可能性を感じております。実際に学生たちは、イベント企画、子育て支援等の団体様で活動する機会をいただき、社会の一員としての自信をつけると同時に、社会貢献への意識をつけて帰ってきます。多様な働き方、生き方の時代。学生の視野を広げるきっかけにもなるNPOインターンシップを勧めます。ご指導いただいております、皆さまに心より御礼申し上げます。

**横浜美術大学  
石黒 亜矢子 氏**



# インターン生のアンケートより

## 参加者の満足度アンケート



- 満足
- どちらかと言えば満足
- どちらかと言えない
- どちらかと言えば不満
- 不満

- ・自ら動く大切さについて、人との関わりについて、様々なことを学べたとてもいい機会だったから
- ・実際に働いている人の話を聞くことができたから
- ・書類の作成や会議同行など社会人の経験をすることができ、勉強になったから
- ・多くの人と関わることができ、自分で活動の計画を立てて実行する行動力が養われたから

## 感想ランキング(複数回答可)

- 1位 いままでやったことのない経験ができた (86.2%)
- 2位 NPOや民間非営利組織への関心が高まった (62.1%)
- 3位 大学生活(特に夏休み)を有意義に過ごすことができた (51.2%)

## 生の声を一部紹介!

- 以前はNPOやNGOの団体について名前しか聞いたことがなく曖昧でしたが、インターンシップ後は活動内容や団体が行っていることなど知ることができた。
- このインターンが自分のことを知るきっかけにもなった。また、自然の魅力に気づかされ、環境問題のことにより力を入れていきたいと感じた。
- 社会に出るための準備だけでなく、様々なスキルを身につけられた。
- 今回はコロナウイルスの影響で対面での作業が難しく、なかなか思うように進まないところもあったが、自分の成長につながり、将来自分がやりたいことが明確になってきた。
- 以前はNPOと聞くと海外であれば現場で活躍したり、日本でも募金活動などをする団体であると思っていた。また、すべてがボランティアで行われていて、それを仕事にしている人は少ないのではないかという偏見があった。しかし、インターンシップ後は、ボランティアではなくしっかりとお給料を得て、自分がする仕事に情熱を注いでおられる方がいることが分かり、私もそれを職業にしたいと思った。
- コロナ禍の状況できちんと活動できるか不安でしたが、対策もしっかりしていただき、安心して活動することができました。子どもたちとの関わり合いをして、積極性や柔軟な発想力など自分の価値観を広げることができました。



---

発行月 2021年3月  
発行元 NPO法人アクションポート横浜  
編集 2020年度学生スタッフ 細野瑞希  
URL <http://actionport-yokohama.org>



アクションポート横浜

検索